

授業科目名 (英文名)	外書演習 (Advanced seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	田中 隆	所属	経営学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義では、私たちの社会や経済がより良くなるために、経済・経営・政治・社会等における様々なテーマに触れながら、それらのテーマに関する基礎的知識の習得を目指すことを第1の目的とする。加えて、ゼミでのグループワークやディスカッションを通じて、今後の企業社会等で要求される報告や議論が、適切な水準で出来るようになることを第2の目的とする。そして、興味のある業界・企業等を探す作業を通じて、各自の進路決定に取り組むことを第3の目的とする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 保険やリスクマネジメントに関連するテーマを含めた社会や経済、企業等におけるテーマに対して、英語文献等を含めた教材を活用した報告・議論から基礎的知識を習得し、興味ある研究テーマや業界・企業等を探し出す。さらに、ゼミでのディスカッションやグループワークから、報告や議論に必要なスキルを習得する。可能であれば、ビジネス・スキルやビジネス・マナー等の修得も目指す。</p> <p>講義計画</p> <p>[前期] 1回：オリエンテーション 2回～15回：受講生各自に課された報告と関連する議論に沿って、ゼミを進める。</p> <p>[夏休み] ○夏季休暇中に課題レポート等を作成</p> <p>[後期] 16回～30回：グループワークを取り入れながら、各自の研究テーマについて報告、ディスカッションを行う。 興味のある業界研究や、3回生のゼミ選択を意識しての作業に取り組む。</p>		
テキスト	使用するテキスト等については、適時、受講生と相談して決定する。		
参考文献	ゼミにおいて、その文献・資料が学術情報館にあるのかも含めて、随時指示する。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 ゼミで議論した内容を正確に理解し、十分な準備に裏打ちされた正確で論理的な説明・記述ができる者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力(知識・技能、思考力、判断力、表現力等)の到達度、研究報告のオリジナリティ・新規性等に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 平常点、(含受講態度、積極的な質問等)30%、ゼミにおける発言内容30%、提出課題の内容・報告内容40%を基準とし、総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	無断欠席が3回以上になった受講生等、受講態度に問題のある学生には、ゼミへの参加を断ることがある。必ず前回までのゼミで議論した内容を復習し、ゼミで議論する内容を予習してゼミに臨むこと。また、常識的なことを確実に守ること。		
実践的教育	該当しない		
備考			